令和6(2024)年度
年間指導・評価計画

第2学年

令和6年7月

砧の学び舎　世田谷区立砧中学校

2024年度　　第2学年　　国語科　　124　世田谷区立砧中学校

月	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション			今までの学習を振り返り、自分の新しい学習目標を持とうとしている。
	広がる学びへ アイスプラネット	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。→登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して，作品を読んでいる。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定のしかたなどを捉えている。→登場人物の言動から特徴を捉え，他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。	積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え，学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
5	枕草子	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。→作者の考えと自分の考えとを比較し，感じたことをまとめている。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。→生活を振り返って，自分ならではの季節感を表すものを見つけている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
6	多様な視点から クマゼミ増加の原因を探る	話や文章の構成や展開について理解を深めている。 →文章が六つの部分でできていることを理解し，線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。	「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において，文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に文章と図表などを結び付け，学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
7	言葉と向き合う 言葉の力	本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。→言葉に対する筆者の考え方を捉え，本や文章には，筆者の考え方が書かれていることや，それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。→言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち，話し合っている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，今までの学習を生かして考えた
	短歌に親しむ 短歌を味わう	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。→情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。	「読むこと」において，観点を明確にして短歌を比較するなどし，短歌の構成や表現の効果について考えている。 「書くこと」において，表現の効果を考えて描写するなど，自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。→学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして作っている。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え，学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
9	人間のきずな 盆土産	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 →登場人物の言動や情景を表す語句に着目し，それらが作品	「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて	粘り強く登場人物の言動の意味について考え，学習課題に

	字のない葉書	に与える印象を述べている。	考えて，内容を解釈している。→登場人物の言動から人柄や心情を読み取り，それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。	沿って作品の印象を伝え合おうとしている。
10	論理を捉えて モアイは語る	意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。→筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解し，その根拠が適切かを吟味している。	・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開について考えている。→文章全体の構成を捉え，意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。自分の知識や体験と重ね，筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。	粘り強く論理の展開について考え，学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
11	いにしえの心を訪ねる 源氏と平家 扇の的	作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。→漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。→冒頭部分の現代語訳を読んで，「無常観」を感じ取っている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。→古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。	「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。→「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え，作品を読み深めている。	進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り，学習課題に沿って朗読しようとしている。 進んで登場人物の言動の意味について考え，学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
12	仁和寺にある法師	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。→与一や義経の言動，扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し，古人のものの見方や考え方を捉えている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。→古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。→現代語訳や語注などを手掛かりにして，法師の言動やそれに対する作者のものの見方，考え方を理解している。	・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。→法師と同じような経験がないかを踏まえて，考えたことを話し合っている。 ・「書くこと」において，伝えたいことがわかりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。→文章の構成を工夫して，古典の登場人物について論じる文章を書いている。	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け，学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
1	価値を知る	・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。→筆者が，どのような例示（具体）を基に，	・「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て，内容を解釈している。→二つの文章	粘り強く観点を明確にして文章を比較し，今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている

	君は「最後の晩餐」を知っているか	「最後の晩餐」を「かっこいい。」（抽象）と述べているのかを理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。→二つの文章を比較し，それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。	に書かれていることを比較したり，関係づけたりしながら，それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 ・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えている。→文章の構成や表現の特徴について，二つの文章を比較して発見したことを発表している。	
2	表現を見つめる 走れメロス	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。→作品中の漢語を和語に置き換えると，印象がどのように変わるかを考えている。	・「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考えて，内容を解釈している。→「メロス」や「王」の言動に着目して，人物の考え方や心情の変化を読み取っている。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。→「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを，自分の知識や経験と結び付けて考えている。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え，学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
3	木	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。→「愛」，「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し，詩の中での意味を考えている。	・「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり，表現の効果を考えて描写したりするなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。→登場人物の人物像や表現のしかたなど，観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。	進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。
通年	漢字 文法 書写	1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使える。 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えている。また、単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意している。 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して読みやすく早く書いている。また、目的に応じて、楷書・行書を選んで書いている。	「読むこと」において，詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。→自分の知識や経験と結び付けて，作者のものの見方について考えている。	粘り強く漢字の習得や文法の理解、書写の上達に取り組もうとしている。
評価基準	概ね満足できる基準	抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句に注意して読むことができる。	文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考えられる。また、文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめられる。	積極的に文章を読んだり、異なる立場や考えを聞いたり、自分の考えを話したりしようとしている。
	十分満足できる基準	抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句を使って自分の考えをまとめたり、深めたりできる。	文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と結び付けて自分の考えを持ち、表現できる。	相手の考えや立場を尊重して話し合ったり、読んだり書いたりすることで自分の考えを深めようとしている
評価方法		授業観察・課題提出・ワークブック・ワークシート・定期考査・小テスト・発表・スピーチ・作文・作品	授業観察・課題提出・ワークブック・ワークシート・定期考査・小テスト・発表・スピーチ・作文・作品	授業観察・課題提出・ワークブック・ワークシート・定期考査・小テスト・発表・スピーチ・作文・作品

令和６年度　　第２学年　　数　学　　１学期　　124 世田谷区立砧中学校

	指　導　内　容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
４月 ５月 ６月	１章　式の計算 １　式の計算 ２　文字式の利用	・簡単な整式の加法・減法の計算や単項式の乗法・除法の計算をしたり、目的に応じて式を変形することができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。またそれらに関する知識を身に付けている。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。	・文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
７月	２章　連立方程式 １　連立方程式とその解き方 ２　連立方程式の利用	・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立二元一次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解し、解くことができる。	・一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し、表現することができる。 ・連立二元一次方程式を具体的な場面で活用することができる。	・連立二元一次方程式のよさを実感して粘り強く考え連立二元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立二元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評価基準	B　おおむね満足できる基準	・簡単な整式の加法・減法の計算や単項式の乗法・除法の計算を行い、連立２元１次方程式を解くことができる。	・文字を用いた式や連立二元一次方程式についての基礎的・基本的な知識および技能を活用しながら、事象を論理的に考察し表現する。	・文字を用いた式のよさや連立二元一次方程式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式や連立二元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている。
	A　十分満足できる基準	・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表現し式の意味を読み取ったり，計算をしたり、数量の関係を二元一次方程式で表したりするなど、技能を身につけている。	・考察の過程を振り返り、考えを深めたりするなど、数学的な思考・判断・表現を身に付けている。	・意欲的に数学を問題の解決に取り組み、活用して考えたり判断しようとしている。
評価方法		授業への取り組み 定期考査 小テスト 課題提出物 ノートへの記録	授業への取り組み 定期考査 小テスト 課題提出物 ノートへの記録	授業への取り組み 課題提出物 ノートへの記録

令和６年度　　第２学年　　数　学　　２学期　124 世田谷区立砧中学校

	指　導　内　容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月 10月 11月 12月	３章　１次関数 １　１次関数 ２　１次関数の性質と調べ方 ３　２元１次方程式と１次関数 ４　１次関数の利用 ４章　平行と合同 １　説明のしくみ ２　平行線と角 ３　合同な図形	・一次関数について理解し、二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。	・一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ・基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。 ・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。	・一次関数のよさを実感して粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。 ・平面図形の性質のよさや証明のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評価基準	B　おおむね満足できる基準 A　十分満足できる基準	・一次関数の表，式，グラフの関連や、平行線の性質，多角形についての性質，三角形の合同条件，図形の証明の必要性と意味及びその方法などを理解する。 ・一次関数の関係や図形の性質についての課題を式やグラフ、表を用いて解決するための技能を身に付けている。	・一次関数や図形の性質について，基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら事象を見通しをもって論理的に考察し表現する。 ・考察の過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考・判断・表現を身に付けている。	・一次関数のよさや平面図形の性質のよさ、証明のよさを実感して粘り強く考え、一次関数や平面図形、証明について学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている。 ・意欲的に数学を問題の解決に取り組み、活用して考えたり判断しようとしている。
評価方法		授業への取り組み 定期考査 小テスト 課題提出物 ノートへの記録	授業への取り組み 定期考査 小テスト 課題提出物 ノートへの記録	授業への取り組み 課題提出物 ノートへの記録

令和６年度　　第２学年　　数　学　　３学期　124 世田谷区立砧中学校

	指　導　内　容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
１月 ２月 ３月	５章　三角形と四角形 １　三角形 ２　平行四辺形 ６章　確率 １　確率 ２　確率による説明 ７章 データの比較 １　四分位範囲と箱ひげ図	・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 ・定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 ・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。 ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 ・同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。 ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・証明の必要性と意味及びその方法について考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ・場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評価基準	B　おおむね満足できる基準 A　十分満足できる基準	・図形の性質や条件，合同条件，四角形の包摂関係，確率や四分位範囲、箱ひげ図の必要性と意味などを理解し知識を身に付けている。 ・図形の性質や条件，合同条件，四角形の包摂関係，確率や四分位範囲、箱ひげ図の必要性と意味などを理解し、図形の性質などを記号を用いて表したり，その意味を読み取ることや，確率を求めたりするなどができる。	・三角形や四角形の性質や確率、四分位範囲などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら，事象を見通しをもって論理的に考察し表現する。 ・考察の過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考・判断・表現を身に付けている。	・証明や確率、四分位範囲、箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、証明や確率、四分位範囲、箱ひげ図について学んだことを生活や学習に生かそうとしたりしている。 ・意欲的に数学を問題の解決に取り組み、活用して考えたり判断しようとしている。
評価方法		授業への取り組み 定期考査 小テスト 課題提出物 ノートへの記録	授業への取り組み 定期考査 小テスト 課題提出物 ノートへの記録	授業への取り組み 課題提出物 ノートへの記録

2024年度　2年理科　年間指導計画・評価計画　　各週＜理科1＞2.5時間、＜理科2＞1時間、＜理科3＞0.5時間並行して学習する。　　124 世田谷区立砧中学校

月	年間指導計画			観点別評価		
	＜理科1＞	＜理科2＞	＜理科3＞	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 5月 6月 7月	単元1　化学変化と原子・分子 1章　物質の成り立ち 2章　いろいろな化学変化 3章　化学変化と熱の出入り 4章　化学変kなと物質の質量	単元4　気象のしくみと天気の変化 1章　気象観測 2章　気圧と風	単元2　生物の体のつくりとはたらき 1章　生物をつくる細胞 2章　植物の体のつくりとはたらき	＜理科1＞ 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら，物質の分解，原子・分子，化学変化，化学変化における酸化と還元，化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ＜理科2＞ 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら，気象要素，気象観測，気圧と風についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ＜理科3＞ 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら，生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	＜理科1＞ 物質の成り立ち，化学変化，化学変化と熱について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 ＜理科2＞ 気象観測，気圧と風について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 ＜理科3＞ 日本の気象の特徴について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	＜理科1＞ 物質の成り立ちや化学変化，化学変化と熱に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ＜理科2＞ 気象観測，気圧と風に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ＜理科3＞ 生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
評価基準	B ： おおむね満足できる。 A ： 十分満足できる。			学習内容について理解し，説明できている。 観察・実験を安全に行い，結果の記録や整理ができている。 学習内容について正確に理解し，具体例をあげて説明できている。 観察・実験を安全に正しく行い，適切に結果を記録したり，わかりやすく整理したりできている。	観察・実験の結果から，自らの考えを導いたりまとめたりして，表現している。 実験の方法を計画している。 観察・実験の結果から，既習事項と関連付けて、自らの考えを導いたりまとめたりして，表現している。 実験の方法について，見通しをもって計画している。	学習内容に興味を示したり，調べようとしたりしている。科学的に探究しようとしている。 学習内容に関心をもち，意欲的に調べようとしている。実験の結果の予想など、進んで考え，科学的に探究しようとしている。

2024年度　2年理科　年間指導計画・評価計画　　各週＜理科1＞2.5時間、＜理科2＞1時間、＜理科3＞0.5時間並行して学習する。　　124 世田谷区立砧中学校

月	年間指導計画			観点別評価		
	＜理科1＞	＜理科2＞	＜理科3＞	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
おもな評価資料と評価方法				・定期考査や小テスト ・実験・観察のレポート ・ワークシート等の課題	・定期考査や小テスト ・実験・観察のレポート ・ワークシート等の課題	・授業への取り組み ・ワークシートや問題集への取り組み ・実験・観察のレポート ・定期考査や小テスト

2024年度　2年理科　年間指導計画・評価計画　　各週＜理科1＞2.5時間、＜理科2＞1時間、＜理科3＞0.5時間並行して学習する。　　124 世田谷区立砧中学校

月	年間指導計画			観点別評価		
	＜理科1＞	＜理科2＞	＜理科3＞	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月 10月 11月 12月	単元1　化学変化と原子・分子 4章　化学変kなと物質の質量 単元3　電流とその利用 1章　電流と回路 2章　電流と磁界 3章　電流の正体	単元4　気象のしくみと天気の変化 2章　気圧と風 3章　天気の変化 4章　日本の気象	単元2　生物の体のつくりとはたらき 2章　植物のからだのつくりとはたらき	＜理科1＞　化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら，化学変化と質量の保存，質量変化の規則性について，電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら，回路と電流・電圧，電流・電圧と抵抗，電気とそのエネルギー，電流がつくる磁界，磁界中の電流が受ける力，電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ＜理科2＞　気象要素と天気の変化との関係に着目しながら，霧や雲の発生，前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ＜理科3＞　植物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら，葉・茎・根のつくりと働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	＜理科1＞ 化学変化と物質の質量，電流に関する現象，電流と磁界に関する現象について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 ＜理科2＞ 気象要素と天気の変化との関係について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 ＜理科3＞ 植物の体のつくりと働きについて，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	＜理科1＞ 物質の成り立ちや化学変化，化学変化と熱に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ＜理科2＞ 気象要素と天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ＜理科3＞ 植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
評価基準	Ｂ：おおむね満足できる。 Ａ：十分満足できる。			学習内容について理解し，説明できている。 観察・実験を安全に行い，結果の記録や整理ができている。 学習内容について正確に理解し，具体例をあげて説明できている。 観察・実験を安全に正しく行い，適切に結果を記録したり，わかりやすく整理したりできている。	観察・実験の結果から，自らの考えを導いたりまとめたりして，表現している。 実験の方法を計画している。 観察・実験の結果から，既習事項と関連付けて、自らの考えを導いたりまとめたりして，表現している。 実験の方法について，見通しをもって計画している。	学習内容に興味を示したり，調べようとしたりしている。科学的に探究しようとしている。 学習内容に関心をもち，意欲的に調べようとしている。実験の結果の予想など、進んで考え，科学的に探究しようとしている。

2024年度　2年理科　年間指導計画・評価計画　　各週＜理科1＞2.5時間、＜理科2＞1時間、＜理科3＞0.5時間並行して学習する。　　124 世田谷区立砧中学校

月	年間指導計画			観点別評価		
	＜理科1＞	＜理科2＞	＜理科3＞	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
おもな評価資料と評価方法				・定期考査や小テスト ・実験・観察のレポート ・ワークシート等の課題	・定期考査や小テスト ・実験・観察のレポート ・ワークシート等の課題	・授業への取り組み ・ワークシートや問題集への取り組み ・実験・観察のレポート ・定期考査や小テスト

2024年度　2年理科　年間指導計画・評価計画　　各週＜理科1＞2.5時間、＜理科2＞1時間、＜理科3＞0.5時間並行して学習する。　　124 世田谷区立砧中学校

月	年間指導計画			観点別評価		
	＜理科1＞	＜理科2＞	＜理科3＞	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1月 2月 3月	単元3　電流とその利用 3章　電流の正体 単元2　生物の体のつくりとはたらき 3章　動物の体のつくりとはたらき	単元4　気象のしくみと天気の変化 4章日本の気象	単元2　生物の体のつくりとはたらき 2章　植物のからだのつくりとはたらき	＜理科1＞ 静電気と電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら，静電気と電流について，動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら，生命を維持する働き，刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ＜理科2＞ 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら，日本の天気の特徴，大気の動きと海洋の影響についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ＜理科3＞　植物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら，葉・茎・根のつくりと働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	＜理科1＞ 静電気と電流に関する現象について，動物の体のつくりと働きについて，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 ＜理科2＞ 日本の気象の特徴について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。 〈理科3＞ 植物の体のつくりと働きについて，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	＜理科1＞ 静電気と電流，動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ＜理科2＞ 気象要素と天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ＜理科3＞ 植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
評価基準	B ： おおむね満足できる。 A ： 十分満足できる。			学習内容について理解し，説明できている。 観察・実験を安全に行い，結果の記録や整理ができている。 学習内容について正確に理解し，具体例をあげて説明できている。 観察・実験を安全に正しく行い，適切に結果を記録したり，わかりやすく整理したりできている。	観察・実験の結果から，自らの考えを導いたりまとめたりして，表現している。 実験の方法を計画している。 観察・実験の結果から，既習事項と関連付けて、自らの考えを導いたりまとめたりして，表現している。 実験の方法について，見通しをもって計画している。	学習内容に興味を示したり，調べようとしたりしている。科学的に探究しようとしている。 学習内容に関心をもち，意欲的に調べようとしている。実験の結果の予想など、進んで考え，科学的に探究しようとしている。

2024年度　2年理科　年間指導計画・評価計画　　各週＜理科1＞2.5時間、＜理科2＞1時間、＜理科3＞0.5時間並行して学習する。　　124 世田谷区立砧中学校

月	年間指導計画			観点別評価		
	＜理科1＞	＜理科2＞	＜理科3＞	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
おもな評価資料と評価方法				・定期考査や小テスト ・実験・観察のレポート ・ワークシート等の課題	・定期考査や小テスト ・実験・観察のレポート ・ワークシート等の課題	・授業への取り組み ・ワークシートや問題集への取り組み ・実験・観察のレポート ・定期考査や小テスト

令和６年度　社会＜地理＞（担当：入江）　１学期　評価基準　１２４世田谷区立砧中学校				
		観点別評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
4 5	＜地理的分野> 日本の地域的特色と地域区分 九州地方 中国四国地方	● 課題を探求することなどを通して、日本の地域的な特色、九州地方・中国四国地方の特色についての知識を身に付けている。	● 日本の地域的な特色、九州地方・中国四国地方の特色について多面的・多角的に考察して表現している。	● 日本の地域的な特色について、諸資料を用いて学習方法を工夫しながら主体的に学ぼうとしている。
評価基準	B　概ね満足できる規準	● 日本の地域的な特色、九州地方・中国四国地方の特色についての知識を概ね身に付けている。	● 日本の地域的な特色、九州地方・中国四国地方の特色についてついて、諸資料から考察し、表現できる。 ● 日本や各地方の特色をまとめることができる。	● 日本の地域的な特色ついて、諸資料を用いて工夫しながら主体的に学ぶことができる。
	A　十分満足できる規準	● 課題を探求することなどを通して、日本の地域的な特色、九州地方・中国四国地方の特色についての知識を十分身に付けている。	● 日本の地域的な特色、九州地方・中国四国地方の特色について、諸資料から多面的・多角的に考察し、表現できる。 ● 日本の地位的な特色を多面的・多角的に考察し自分の言葉でまとめることができる。	● 日本の地域的な特色について、諸資料を用いて主体的に学び、更に自分なりの課題を見つけて解決のための方策を模索することができる。
評価方法		定期考査、レポート、提出物、小テスト	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン

令和６年度　社会＜地理＞（担当：入江）　２学期　評価基準　１２４世田谷区立砧中学校				
		観点別評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
10 11 12	<地理的分野> 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方	● 課題を探求することなどを通して、日本の諸地域の特色や課題についての知識を身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の諸地域の特色や課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	● 日本の諸地域の特色や課題について、諸資料や事例から学習方法を工夫して主体的に学ぼうとしている。
評価基準	B　概ね満足できる規準	● 日本の諸地域の特色や課題についての知識を概ね身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の諸地域の特色や課題について考察し、表現することができる。	● 日本の諸地域の特色や課題について、諸資料を用いて学習方法を工夫しながら主体的に学ぶことができる。
	A　十分満足できる規準	● 日本の諸地域の特色や課題についての知識を十分身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の諸地域の特色や課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	● 日本の諸地域の特色や課題について、諸資料を用いて学習方法を工夫しながら主体的に学び、更に自分なりの課題を見つけて解決のための方策を模索することができる。
評価方法		定期考査、レポート、提出物、小テスト	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン

令和６年度　社会＜地理＞（担当：入江）　３学期　評価基準　１２４世田谷区立砧中学校		
		観点別評価基準

		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
1 2 3	＜地理的分野＞ 東北地方 北海道地方 地域調査	● 課題を追及したり解決する活動を通して、日本の諸地域の特色や課題についての知識を身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の諸地域の特色や課題について多面的・多角的に考察し、表現できる。	● 日本の諸地域の特色や課題について、諸資料や事例から学習方法を工夫して主体的に学ぼうとしている。
評価基準	B　概ね満足できる規準	● 日本の諸地域の特色や課題についての知識を概ね身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の諸地域の特色や課題について考察し、表現できる。	● 日本の諸地域の特色や課題について、諸資料や事例から主体的に学ぶことができる。
	A　十分満足できる規準	● 日本の諸地域の特色や課題についてついての知識を十分身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の諸地域の特色や課題について多面的・多角的に考察し、現代社会の課題に対する方策などを立案することができる。	● 日本の諸地域の特色や課題について、諸資料や事例から主体的に学び、更に自分なりの課題を見つけて解決のための方策を模索することができる。
評価方		定期考査、レポート、提出物、小テスト	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン

令和６年度　社会（担当：入江）　１学期　評価基準　１２４世田谷区立砧中学校				
		観点別評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
6 7	<歴史的分野> 近世の日本	● 課題を探求することなどを通して、近世の日本の政治・経済・社会や文化、日本を取り巻く諸外国の動向についての知識を身に付けている。	● 政権の諸政策の目的、産業の発達や文化の変化、社会の変化に着目し、事象を相互に関連付けながら、世界の動きと幕府の動きについて、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ● 近世の日本の様子を大観して、諸資料から時代ごとの特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	● 近世の日本と諸外国の様子について、諸資料を用いて学習方法を工夫しながら主体的に学ぼうとしている。
評価基準	B　概ね満足できる規準	● 近世の日本の政治・経済・社会や文化、日本を取り巻く諸外国の動向についての知識を概ね身に付けている。	● 近世の日本や諸外国について、諸資料から考察し、表現できる。 ● 近世の日本を大観して、その特色をまとめることができる。	● 近世の日本や諸外国の様子について、諸資料を用いて工夫しながら主体的に学ぶことができる。
	A　十分満足できる規準	● 課題を探求することなどを通して、近世の日本の政治・経済・社会や文化、日本を取り巻く諸外国の動向についての知識を十分身に付けている。	● 近世の日本や諸外国について、諸資料から多面的・多角的に考察し、表現できる。 ● 近世の日本を大観して、その特色を多面的・多角的に考察し自分の言葉でまとめることができる。	● 近世の日本や諸外国の様子について、諸資料を用いて主体的に学び、更に自分なりの課題を見つけて解決のための方策を模索することができる。
評価方法		定期考査、レポート、提出物、小テスト	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン

令和６年度　社会（担当：入江）　２学期　評価基準　１２４世田谷区立砧中学校

		観点別評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
9 10 11 12	<歴史的分野> 開国と近代日本の歩み ・江戸幕府 ・欧米の進出	● 課題を探求することなどを通して、日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立についての知識を身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	● 日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立について、諸資料や事例から学習方法を工夫して主体的に学ぼうとしている。
評価基準	B　概ね満足できる規準	● 日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立についての知識を概ね身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立について考察し、表現することができる。	● 日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立について、諸資料を用いて学習方法を工夫しながら主体的に学ぶことができる。
	A　十分満足できる規準	● 日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立についての知識を十分身に付けている。	● 諸資料や事例から、日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	● 日本の近代化や開国とその影響、立憲国家の成立について、諸資料を用いて学習方法を工夫しながら主体的に学び、更に自分なりの課題を見つけて解決のための方策を模索することができる。
評価方法		定期考査、レポート、提出物、小テスト	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン

令和６年度　社会（担当：入江）　３学期　評価基準　１２４世田谷区立砧中学校

		観点別評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう態度
1 2 3	＜歴史的分野＞ 明治維新 日清・日露戦争	● 課題を追及したり解決する活動を通して、立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化についての知識を身に付けている。	● 諸資料や事例から、立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化について多面的・多角的に考察し、表現できる。	● 立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化について、諸資料や事例から学習方法を工夫して主体的に学ぼうとしている。
評価基準	B　概ね満足できる規準	● 立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化についての知識を概ね身に付けている。	● 諸資料や事例から、立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化について考察し、表現できる。	● 立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化について、諸資料や事例から主体的に学ぶことができる。
	A　十分満足できる規準	● 立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化についての知識を十分身に付けている。	● 諸資料や事例から、立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化について多面的・多角的に考察し、現代社会の課題に対する方策などを立案することができる。	● 立憲国家の成立過程や、戦争による近代日本の変化について、諸資料や事例から主体的に学び、更に自分なりの課題を見つけて解決のための方策を模索することができる。
評価方		定期考査、レポート、 提出物、小テスト	定期考査、レポート、提出物、小テスト、プレゼン	定期考査、レポート、 提出物、小テスト、プレゼン

令和６年度　２年 英語

月	単元タイトル（題材）	評価の観点のポイント		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	Unit 0 My Spring Vacation	[知識]過去形や過去進行形を用いた文，There is [are] …. の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]思い出について，過去形や過去進行形，There is [are] …. の文を使い分けて，自分が経験したことを伝える技能を身につけている。	思い出を伝えるために，自分の経験について，簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしている。	思い出を伝えるために，自分の経験について，簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしようとしている。
5	Unit 1 A Trip to Singapore	[知識]be going to や助動詞 will を用いた文，SVOO，SVOC の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]be going to や助動詞 will，SVOO や SVOC の文の理解をもとに，予定や意思，予測などを伝え合ったり，名所の紹介や旅行の報告についての英文の内容を読み取ったりする技能を身につけている。	おたがいの予定や観光名所の特徴，旅行の楽しさなどを知るために，予定について伝え合ったり，名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしている。	おたがいの予定や観光名所の特徴，旅行の楽しさなどを知るために，予定について伝え合ったり，名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしようとしている。
	Let’s Talk 1	[知識]苦情を言うときや謝罪するときの表現の意味や働きを理解している。 [技能]ホテルでのトラブルについて，苦情を言うときや謝罪するときの表現を用いて，状況を伝えたり，謝ったりする技能を身につけている。	ホテルでのトラブルを解決できるように，状況を整理して，相手が理解しやすいように伝えたり，謝ったりしている。	ホテルでのトラブルを解決できるように，状況を整理して，相手が理解しやすいように伝えたり，謝ったりしようとしている。
	Let’s Listen 1	[知識]予定などを伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]予定などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに，近い未来の情報について話される内容を捉える技能を身につけている。	飛行機に搭乗している状況で，機内放送から必要な情報を聞き取っている。	飛行機に搭乗している状況で，機内放送から必要な情報を聞き取ろうとしている。
6	Unit 2 Food Travels around the World	[知識]接続詞 when，if，that，because を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]接続詞 when，if，that，because を用いた文の理解をもとに，時や条件，考えや理由など理解したり伝えたりする技能を身につけている。	料理や食文化について伝え合うために，好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり，自分の考えを表現したりしている。	料理や食文化について伝え合うために，好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり，自分の考えを表現したりしようとしている。
7	Let’s Talk 2	[知識]ていねいに許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解している。 [技能]相手にしてほしいことについて，ていねいに許可を求める表現や依頼する表現を用いて，伝えたり答えたりする技能を身につけている。	相手や場面に応じて，ていねいに許可を求めたり，依頼したりしている。	相手や場面に応じて，ていねいに許可を求めたり，依頼したりしようとしている。

9	Let's Listen 2	[知識]時や理由を伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]時や理由を伝える表現の意味や働きの理解をもとに，仕事についてのインタビューを聞いて，その内容を捉える技能を身につけている。	職場体験をしている場面で，自分ならどんな質問をしたいか考えられるように，仕事についてのインタビューを聞いて，要点を捉えている。	職場体験をしている場面で，自分ならどんな質問をしたいか考えられるように，仕事についてのインタビューを聞いて，要点を捉えようとしている。
	Unit 3 My Future Job	[知識不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞を用いた文の理解をもとに，何かをする目的や感情の原因，大切だと思うことを伝えたり，言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。	自分の将来像や夢を考えて伝え合うために，職業について書かれた文章の概要を捉えたり，自分の夢や夢実現のためにしていることなどについて説明したりしている。	自分の将来像や夢を考えて伝え合うために，職業について書かれた文章の概要を捉えたり，自分の夢や夢実現のためにしていることなどについて説明したりしようとしている。
	Let's Write 1	[知識]電子メールの基本的な構成や表現を理解している。 [技能]電子メールの基本的な構成や表現を用いて，留守番電話のメッセージで聞いたことについて，返信メールを書く技能を身につけている。	留守番電話のメッセージで聞いたことについて返信するために，伝えたい内容を整理して，返信メールを書いている。	留守番電話のメッセージで聞いたことについて返信するために，伝えたい内容を整理して，返信メールを書こうとしていている。
	Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	[知識]Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]Unit 3 までの学習事項を用いて，おたがいの好きなことや得意なこと，向いていると思う仕事を伝え合って整理し，未来の自分へのメッセージを書く技能を身につけている。	10 年後の自分へのメッセージを伝えるために，おたがいの好きなことや得意なこと，向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し，自分に合うと思う仕事について書いている。	10 年後の自分へのメッセージを伝えるために，おたがいの好きなことや得意なこと，向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し，自分に合うと思う仕事について書こうとしている。
10	Let's Read 1 History of Clocks	[知識]時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。 [技能]時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに，時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを捉える技能を身につけている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために，時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために，時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。
	Let's Listen 3	[知識]未来を表す表現の意味や働きを理解している。 [技能]未来を表す表現の意味や働きの理解をもとに，天気予報の内容を聞き取る技能を身につけている。	週末の予定を立てるために，天気予報やおすすめの場所の情報を聞いて，必要な情報を聞き取っている。	週末の予定を立てるために，天気予報やおすすめの場所の情報を聞いて，必要な情報を聞き取ろうとしている。
11	Unit 4 Homestay in the United States	[知識]have to，助動詞 must，動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]have to，助動詞 must，動名詞を用いた文の理解をもとに，する必要があることやしなければならないこと，事実や気持ちを伝え合う技能を身につけている。	日米の生活習慣や文化のちがいを知り，ともに暮らすヒントを考えるために，習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり，アドバイスを伝えたりしている。	日米の生活習慣や文化のちがいを知り，ともに暮らすヒントを考えるために，習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり，アドバイスを伝えたりしようとしている。

12 1	Let's Write 2	[知識]手紙を書く際の基本的な構成と表現を理解している。 [技能]手紙を書く際の基本的な構成と表現を用いて，お世話になったことなどについて，感謝の気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。	ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために，思い出や気持ちなどを整理し，お礼の手紙を書いている。	ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために，思い出や気持ちなどを整理し，お礼の手紙を書こうとしている。
	Let's Listen 4	[知識]現在の状況や原因を伝える表現，路線や行き先を表す表現の意味や働きを理解している。 [技能]現在の状況や原因を伝える表現，路線や行き先を表す表現の意味や働きの理解をもとに，電車の運行状況を聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。	電車が遅延している状況で，目的地に行くために必要な情報を，運行状況のアナウンスから聞き取っている。	電車が遅延している状況で，目的地に行くために必要な情報を，運行状況のアナウンスから聞き取ろうとしている。
	Unit 5 Universal Design	[知識]〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be 動詞＋形容詞＋that〉の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be 動詞＋形容詞＋that〉の文の理解をもとに，使い方ややり方，確信や喜びの気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。	だれもが暮らしやすい社会について考えるために，身近なものやことの使い方ややり方を説明したり，相手の考えや気持ち，ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり，してみたいことを伝え合ったりしている。	だれもが暮らしやすい社会について考えるために，身近なものの使い方ややり方を説明したり，相手の考えや気持ち，ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり，してみたいことを伝え合ったりしようとしている。
	Let's Talk 3	[知識]乗り物での行き方をたずねる表現や乗りかえに関する表現の意味や働きを理解している。 [技能]電車の乗り換えについて，乗り物での行き方をたずねたり答えたりする技能を身につけている。	乗り物で目的地に到着できるように，行き方についてたずねたり，答えたりしている。	乗り物で目的地に到着できるように，行き方についてたずねたり，答えたりしようとしている。
	Let's Listen 5	[知識]電話での対応で用いる表現の意味や働きを理解している。 [技能]電話での対応で用いる表現の意味や働きの理解をもとに，留守番電話のメッセージの内容を聞き取る技能を身につけている。	待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように，留守番電話のメッセージを聞いて，必要な情報を聞き取っている。	待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように，留守番電話のメッセージを聞いて，必要な情報を聞き取ろうとしている。
	Unit 6 Research Your Topic	[知識]比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]比較表現を用いた文の理解をもとに，複数のものを比べて説明する伝え合う能を身につけている。	調査や発表の効果的なやり方について考えるために，複数のものを比べた文章の概要を捉えたり，特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりしている。	調査や発表の効果的なやり方について考えるために，複数のものを比べた文章の概要を捉えたり，特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりしようとしている。
	Let's Talk 4	[知識]好みや要望を伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]好みや要望を伝える表現を用いて，買い物のやり取りをする技能を身につけている。	買い物でほしいものを探すことができるように，自分の好みや要望を，簡単な語句や文を用いて伝えている。	買い物でほしいものを探すことができるように，自分の好みや要望を，簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。
	Stage Activity 2 Research and Presentation	[知識]Unit 6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能] Unit 6 までの学習事項を用いて，クラスで人気のあるものについて調査し，その結果をまとめて，発表する技能を身に	聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために，クラスで人気のあるものについて調査し，その結果をまとめて発表している。	聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために，クラスで人気のあるものについて調査し，その結果をまとめて発表しようとしている。

		つけている。		あるテーマについて，自分の賛成や反対の意見を効果的に伝えようとしている。
	Let's Read 2 A Glass of Milk	[知識]場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。 [技能]場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに，物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。	気持ちをこめて音読することができるように，物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。	気持ちをこめて音読することができるように，物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。
2	Unit 7 World Heritage Sites	[知識]受け身の文の形・意味・用法を理解している。 [技能]受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実などを整理し，理解したり伝え合ったりする技能を身につけている。	世界遺産の特徴を知り、その価値について考えるために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、調べたことを紹介したりしている。	世界遺産の特徴を知り、その価値について考えるために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、調べたことを紹介したりしようとしている。
	Let's Talk 5	[知識]電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現を用いて，電話で用件を伝えたり答えたりする技能を身につけている。	電話で待ち合わせの約束などの相談ができるように，自分の好みや要望を伝えながら，用件を伝えたり答えたりしている。	電話で待ち合わせの約束などの相談ができるように，自分の好みや要望を伝えながら，用件を伝えたり答えたりしようとしている。
	Let's Listen 7	[知識] イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解している。 [技能]イベントの情報などを伝える表現の意味や働きの理解をもとに，アナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。	行きたい場所とその理由を考えられるように，イベント情報についてのアナウンスを聞いて，要点を捉えている。	行きたい場所とその理由を考えられるように，イベント情報についてのアナウンスを聞いて，要点を捉えようとしている。
3	Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	[知識]Unit 7 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。[技能]Unit 7 までの学習事項を用いて，自分の町のおすすめの場所について，その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。	ALT の先生に町のおすすめの場所を紹介するために， その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。	ALT の先生に町のおすすめの場所を紹介するために， その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。
	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	[知識]時系列を表す文章構成や語句を理解している。 [技能]時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに，ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり，そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために，ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり，そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために，ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。

令和６年度　指導・評価計画　２学年　　美術　　１２４世田谷区立砧中学校

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元・章・節	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
４	鑑賞 東山魁夷「緑響く」	２	日本画の技法に触れ、他の画材にはない色彩の美しさや技法を学ぶことができる。	画家の作品の美しさを感じ、作品を通して彼の人生について考えを深めることができる。	画家の人生に触れることで、描く意味と生きることの意味を深く感じ取ろうとしている。
４ ５ ～６	手を描く 空き缶を描く	３ ６	形をしっかりととらえ、質感まで描きこむことができる。鉛筆や消しゴム、ポスターカラー等の効果的な使い方を身に付け、意図に応じて工夫して表現することができる。	鉛筆で正確に形を取り、手や缶の構造を考え細部まで描きこみ、質感や立体感を描こうとしている。また、ポスターカラー絵の具を使用し、デッサンに合わせた背景を描くことができる。	自分の描いたモチーフに表情を持たせ、形をとらえることに関心を持ち、自身のイメージを表現しようとしている。
７ ～ ９	スクラッチアート	６	材料や用具の効果的な使用方法を考え、スクラッチによってモチーフを美しく表現する方法を考えることができる。	スクラッチに適したモチーフを考え、下絵を準備し、計画的に制作することができる。	課題に興味を持ち、適したモチーフを選び、表現に意欲的に取り組もうとしている。
９	鑑賞	１	芸術家の作品を鑑賞し、その背景に興味を持ち、十分に理解することができる。	造形的な良さや美しさを理解し、鑑賞の楽しさを味わうことができる。	芸術家の作品表現やその背景に興味を持ち、十分に理解しようとしている。
９ ～ １０	鳥獣戯画を鑑賞し、描く	４	作品の時代背景や技法等に興味を持ち、日本の美術作品の良さや美しさを感じ取ろうとすることができる。	水墨画の良さや美しさを理解し、水墨の道具を使って自分なりに表現することができる。	作品の時代背景に興味を持ち、美意識を高め、味方や感じ方を深めようとしている。
10 11	遠近法で描く・シュルレアリスム ・一点透視図法 ・二点透視図法	５	遠近法の基本を理解し、その技法を生かして立体的な図を表現することができる。 シュルレアリスムの作品を鑑賞し、構図やモチーフの組み合わせやイメージなどで全体をとらえ、味わうことができる。	遠近法の基本を理解し、それを生かして立体的で美しい図を構想し表現することができる。 空想や心に広がる世界を現した画家の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて考えを深めている。	遠近法やそれを用いて描かれたシュルレアリスムの作品に興味を持ち、自身の制作や鑑賞の学習に取り組もうとしている。
12 ～ ３	木彫	８	材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら制作することができる。	使用する際の機能や造形的な美しさなどを、素材や形などの効果を生かして総合的に考え、表現の構想を練ることができる。	木の魅力や特徴に興味を持ち、用途や機能・素材の特徴を生かして制作しようとしている。
主たる評価材料			授業観察・作品・テスト・ワークシート	授業観察・作品・テスト・ワークシート	授業観察・作品・テスト・ワークシート

２０２４年度　　第２学年　　音楽　　１２４　世田谷区立砧中学校　　１学期

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 5月	パートの役割の理解 曲想を生かした表現 「夢の世界を」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知） 創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。（技）	リズム，テクスチュア，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
6月	曲想と音楽の構造とのかかわり 鑑賞 「フーガ　ト短調」 「交響曲第５番ハ短調」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知）	音色，リズム，旋律，形式，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7月	器楽 「アルトリコーダーの奏法」	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり，楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。（知） 創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け，器楽で表している。（技）	音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり，楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想と歌詞の内容との関わり 「夏の思い出」 「風は今」「時の旅人」 ※ことばの力を高める言語活動例を活用する	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。(知) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。(技)	音色，リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	B おおむね満足できる基準	曲想と音楽の構造や歌詞の内容の関わりについて理解している。 豊かな響きや明確な発音で表現する技能を身につけている。 楽器やオーケストラの響きの特徴を理解し曲想から作曲者の思いを感じ取って鑑賞している。 曲想にふさわしい音色となるようなタンギングや運指、正しい姿勢や体の使い方で、演奏表現している。	曲の構成や雰囲気にふさわしい歌い方を考え、表現を工夫している。 曲の構成や雰囲気を感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽、楽器の特徴や曲の雰囲気にふさわしい演奏表現を考え、工夫している。	曲の構成や雰囲気などに関心をもち、表現活動を行っている。 オーケストラの響きや、曲の構成と曲想に関心を持ち、鑑賞活動を行っている。 曲、楽器の特徴にふさわしい音楽表現を意識して、演奏活動を行っている。
	A 十分満足できる基準	曲想と音楽の構造や歌詞の内容を曲の背景とも関連付けて理解している。 他の声部と響きを合わせ、豊かな響きや明確な発音で歌詞の内容を表現する技能を身につけている。 楽器やオーケストラの響きの特徴を理解し、ソナタ形式の特徴や曲想から作曲者の思いを感じ取って鑑賞している。 楽曲全体を通して、曲想にふさわしい音色となる確実なタンギングや運指、姿勢や体の使い方で、演奏表現している。	曲の構成や曲想にふさわしい歌い方を理解しより豊かな表現となるように、工夫している。 曲の構成や雰囲気を感受しながら音楽のよさや美しさの根拠を考え味わいながら聴いている。 音楽、楽器の特徴や曲の雰囲気に結びつく演奏表現を、より具体的にイメージして、工夫している。	曲の構成や曲想などに関心を持ち、より豊かな表現となるように、意欲的に取り組んでいる。 オーケストラの響きや曲想に関心を持ち、ソナタ形式の特徴を理解して、鑑賞活動を行っている。 曲、楽器の特徴にふさわしい音楽表現を意識して、よりよい表現をめざして、演奏活動を行っている。
評価方法		実技評価 定期考査 ワークシートなどの提出課題	実技評価 定期考査 ワークシートなどの提出課題	授業の観察 課題の提出と取り組み状況 定期考査

２０２４年度　　第２学年　　音楽　　２学期

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月 10月	表情豊かな合唱 合唱コンクール 自由曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。（技）	音色，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11月	オペラの特徴の理解 鑑賞 「アイーダ」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知）	音色，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12月	カンツォーネの良さや美しさ 「サンタルチア」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。（知） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。（技）	音色，リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	創作 「リズムを生かした創作」 ※ことばの力を高める言語活動例を活用する	音要素の特徴及び音のつながり方の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。（知） 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け創作で表している。（技）	リズムを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	B おおむね満足できる基準 A 十分満足できる基準	曲想と音楽の構造や歌詞の内容の関わりについて理解している。 豊かな響きや明確な発音で表現する技能を身につけている。 高さや組み合わせの違いよる歌声の特徴を感じ取り、その他の芸術要素を知覚して鑑賞している。 反復、変化、対照などの構成を生かして音を組み合わせ、記譜する技能を身につけている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容を曲の背景とも関連付けて理解している。 他の声部と響きを合わせ豊かな響きや明確な発音で歌詞の内容を表現する技能を身につけている。 色々な歌声の特徴、オーケストラの響き、その他の芸術要素など、オペラ全般を総合的に関連づけて鑑賞している。 反復、変化、対照などの構成を生かしてまとまりのある音を組み合わせ、記譜する技能を身につけている。	曲の構成や雰囲気にふさわしい歌い方を考え、表現を工夫している。 曲の構成や雰囲気を感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 リズムの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽で表現したいイメージにふさわしい組み合わせとなるよう、リズム構成を工夫している。 曲の構成や曲想にふさわしい歌い方を理解しより豊かな表現となるように、工夫している。 曲の構成や雰囲気を感受しながら音楽のよさや美しさの根拠を考え味わいながら聴いている。 リズムの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽で表現したいイメージにふさわしい組み合わせとなるよう、リズム構成と全体のまとまりを工夫している。	曲の構成や雰囲気などに関心をもち、表現活動を行っている。 歌声とその他の芸術要素に関心を持ち、鑑賞活動を行っている。 反復、変化、対照などの特徴を理解して、音楽をつくっている。 曲の構成や曲想などに関心を持ち、より豊かな表現となるように、意欲的に取り組んでいる。 歌声とオーケストラの響きに関心を持ち、その他の芸術要素を関連させて鑑賞活動を行っている。 反復、変化、対照などの特徴を生かし、まとまりのある音楽をつくっている。
評価方法		実技評価 定期考査 ワークシートなどの提出課題	実技評価 定期考査 ワークシートなどの提出課題	授業の観察 課題の提出と取り組み状況 定期考査

２０２４年度　　第２学年　　音楽　　３学期

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1月2月	器楽 「アルトリコーダーの奏法」	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり，楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。（知） 創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け，器楽で表している。（技）	音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したことの関わりについて考え，曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり，楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	歌舞伎の魅力 「勧進帳」	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解している。（知）	音色，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3月	表情豊かな合唱 混声３部合唱 卒業式式歌 ※ことばの力を高める言語活動例を活用する	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知） 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け，歌唱で表している。（技）	音色，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したことの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
評価基準	B おおむね満足できる基準	曲想と音楽の構造や歌詞の内容の関わりについて理解している。 曲想にふさわしい音色となるようなタンギングや運指、正しい姿勢や体の使い方で、演奏表現している。 声や楽器の音色、節回し、リズム、速度の特徴を感じ取り、その他の芸術要素を知覚して鑑賞している。 （合唱は２学期と同じ基準）	音楽、楽器の特徴や曲の雰囲気にふさわしい演奏表現を考え、工夫している。 曲の構成や雰囲気を感受しながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （合唱は２学期と同じ基準）	曲、楽器の特徴にふさわしい音楽表現を意識して、演奏活動を行っている。 歌舞伎音楽と作品の背景に関心を持ち、鑑賞活動を行っている。 （合唱は２学期と同じ基準）
	A 十分満足できる基準	曲想と音楽の構造や歌詞の内容を曲の背景とも関連付けて理解している。楽曲全体を通して、曲想にふさわしい音色となる確実なタンギングや運指、姿勢や体の使い方で、演奏表現している。 歌舞伎音楽の特徴、背景となる文化、その他の芸術要素など、歌舞伎全般を総合的に関連づけて鑑賞している。 （合唱は２学期と同じ基準）	音楽、楽器の特徴や曲の雰囲気に結びつく演奏表現を、より具体的にイメージして、工夫している。 曲の構成や雰囲気を感受しながら音楽のよさや美しさの根拠を考え味わいながら聴いている。 （合唱は２学期と同じ基準）	曲、楽器の特徴にふさわしい音楽表現を意識して、よりよい表現をめざして、演奏活動を行っている。 歌舞伎全般に関心をもち、音楽、作品の背景、その他の芸術要素を関連させて鑑賞活動を行っている。 （合唱は２学期と同じ基準）
評価方法		実技評価 定期考査 ワークシートなどの提出課題	実技評価 定期考査 ワークシートなどの提出課題	授業の観察 課題の提出と取り組み状況 定期考査

令和6年度　第2学年　女子　保健体育　　1学期　124 世田谷区立砧中学校

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 月	＜体つくり運動＞ ラジオ体操・集団行動 柔軟運動・補強運動 新体力テスト(～6月)	・体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・ラジオ体操では,運動のポイントを実演し、大きな動作でリズムに合わせて伸びやかな動きができる。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組んでいる。	・体つくり運動に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の補助をしたり、仲間に助言したりして仲間の学習を援助しようとしている。
4～6 月	＜陸上競技＞ 短距離走・リレー	・陸上競技の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・短距離走では、自身に合ったクラウチングスタートを用いてのスタートダッシュやスピードに乗った中間走からトルソーを意識したフィニッシュができる。 ・リレーでは、前後の走者と十分な利得距離を保ち、お互いがトップスピードの状態でバトンパスができ	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組んでいる。	・陸上競技に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の補助をしたり、仲間に助言したりして仲間の学習を援助しようとしている。
7～9 月	＜水泳＞ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ	・水泳の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組んでいる。	・水泳に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の補助をしたり、仲間に助言したりして仲間の学習を援助しようとしている。
評価基準	B　おおむね満足できる基準	基本的な技術を身につけている。 基本的な理論・ルールを理解している。	自己の課題解決に向けて、安全面に留意しながら練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入している。	運動に対して関心をもち、課題を見つけようとしている。 学習カードに考えたことを記入している。
	A　十分満足できる基準	技能を高め、より多くの技術を身につけている。 技術的な理論・ルール・審判法などを深く理解している。	自己の課題を明確にし、安全面に留意しながら工夫して練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。	運動に対して高い興味・関心をもち、課題を見つけ、技能向上に向けて授業に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。
評価方法		実技テスト(技能) 定期考査(知識)	学習カード(内容) 定期考査	授業観察(安全面) 学習カード(内容)

令和6年度　第2学年　女子　保健体育　　2学期　124 世田谷区立砧中学校

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7～9 月 9～10 月 10 月	＜水泳＞ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ	・水泳の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	・水泳に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェ
	＜陸上競技＞ ハードル走・走り幅跳び	・陸上競技の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしてい	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	・陸上競技に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェ
	＜器械運動＞ マット運動 ・回転系の基本的な技 ・巧技系の基本的な技	・器械運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・マット運動の回転系では、手足で自身の身体を支	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。	・器械運動に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。

10 月 11 月 12～1 月	＜球技＞ バレーボール ・パス ・サービス ・ゲーム ＜球技＞ バスケットボール ・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム ＜ソフトボール＞ スローイング・キャッチング バッティング ゲーム	・球技(バレーボール)意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・バレーボールではサービスやパス、などの基本的なボール操作を身に着けることができる。 ・球技(バスケットボール)の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・バスケットボールでは、パス、ドリブル、シュートなどの基本的なボール操作を身に着けることができる。 ・バスケットボールでは、チーム内でボールをつな ・ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・相手に正確に送球できる、バットでボールをしっかりとらえることができるなど。基本的な技術を身に付	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組ん ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組んでいる。 ・守備やバッティング、走塁などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・球技(バレーボール)に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・球技(バスケットボール)に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の補助をしたり、仲間に助言したりして仲間の ・ソフトボールに関心をもち、守備やバッティング、走塁などの技術などを高めるために課題を見つけようとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守るなど、健
評 価 基 準	B　おおむね満足できる基準	基本的な技術を身につけている。 基本的な理論・ルールを理解している。	自己の課題解決に向けて、安全面に留意しながら練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入している。	運動に対して関心をもち、課題を見つけようとしている。 学習カードに考えたことを記入している。
	A　十分満足できる基準	技能を高め、より多くの技術を身につけている。 技術的な理論・ルール・審判法などを深く理解している。	自己の課題を明確にし、安全面に留意しながら工夫して練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。	運動に対して高い興味・関心をもち、課題を見つけ、技能向上に向けて授業に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。
法方価評		実技テスト(技能) 定期考査(知識)	学習カード(内容) 定期考査	授業観察(安全面) 学習カード(内容)

令和6年度　第2学年　女子　保健体育　　3学期　124 世田谷区立砧中学校

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 月 1～2 月 2～3 月	＜球技＞ ハンドトボール ・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム ＜球技＞ バドミントン ・ラリー ・サービス ・ゲーム ＜ダンス＞ ・基本的なステップ ・現代的なリズムのダンス	・球技(ハンドボール)の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・ハンドトボールでは、パス、ドリブル、シュートなどの基本的なボール操作を身に着けることができる。 ・バスケットボールでは、チーム内でボールをつな ・球技(バドミントン)意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・バドミントンでは、基本的なラケット操作を身に着けることができる。 ・ダンスの意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解し、言ったり書き出したりしている。 ・創作ダンスでは、テーマにふさわしイメージをとら	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組んでいる。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習カードに書き出したりしている。 ・自己や仲間の安全に留意しながら学習に取り組ん ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えてたり、学習	・球技(ハンドボール)に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の補助をしたり、仲間に助言したりして仲間の ・球技(バドミントン)に関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ・ダンスに関心をもち、積極的に取り組んでいる。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。
通 年	＜保健分野＞ 生活習慣の健康への影響 けがの防止と応急手当	【知識】 ・運動、食事、休養・睡眠、喫煙、飲酒などの生活習慣が発病や進行に大きく関わっていること	・自分自身の生活習慣や普段の過ごし方について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康とは何かを考えたり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組んでいる。
	＜体育理論＞ 運動やスポーツの効果・学び方・安全	【知識】 ・運動やスポーツが心と体に良い影響を与えること	・運動やスポーツとの関わり方や学び方、安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決	・運動やスポーツ効果や学び方、安全についての学習に積極的に取り組もうとしている。
評 価 基 準	B　おおむね満足できる基準	基本的な技術を身につけている。 基本的な理論・ルールを理解している。	自己の課題解決に向けて、安全面に留意しながら練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入している。	運動に対して関心をもち、課題を見つけようとしている。 学習カードに考えたことを記入している。
	A　十分満足できる基準	技能を高め、より多くの技術を身につけている。 技術的な理論・ルール・審判法などを深く理解している。	自己の課題を明確にし、安全面に留意しながら工夫して練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。	運動に対して高い興味・関心をもち、課題を見つけ、技能向上に向けて授業に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。
法方価評		実技テスト(技能) 定期考査(知識)	学習カード(内容) 定期考査	授業観察(安全面) 学習カード(内容)

令和6年度　第2学年　男子　保健体育　　1学期　124 世田谷区立砧中学校

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 月	＜体つくり運動＞ ラジオ体操・集団行動 柔軟運動・補強運動 新体力テスト(～6月)	・体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて改善策を考え、運動に取り組んでいる。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体つくり運動に関心をもち、体の動きを高めるために課題を見つけようとしている。 ・健康安全に気を配っている。
4～6 月	＜陸上競技＞ 短距離走・リレー	・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・滑らかな動きで走る、バトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。	・動きなどに自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動に取り組んでいる。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・陸上競技に関心をもち、スピード、バトンパスの技術などを高めるために課題を見つけようとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守るなど、健康安全に気を配っている。
7～9 月	＜水泳＞ クロール・平泳ぎ	・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動に取り組んでいる。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・水泳に関心をもち、クロールや平泳ぎの技術などを高めるために課題を見つけようとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなどルールやマナーを守り、健康安全に気を配っている。
評価基準	B　おおむね満足できる基準	基本的な技術を身につけている。 基本的な理論・ルールを理解している。	自己の課題解決に向けて、安全面に留意しながら練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入している。	運動に対して関心をもち、課題を見つけようとしている。 学習カードに考えたことを記入している。
	A　十分満足できる基準	技能を高め、より多くの技術を身につけている。 技術的な理論・ルール・審判法などを深く理解している。	自己の課題を明確にし、安全面に留意しながら工夫して練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。	運動に対して高い興味・関心をもち、課題を見つけ、技能向上に向けて授業に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。
評価方法		実技テスト(技能) 定期考査(知識)	学習カード 定期考査	授業観察 学習カード

令和6年度　第2学年　男子　保健体育　　2学期　124 世田谷区立砧中学校

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7～9 月	＜水泳＞ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ 安全学習	・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動に取り組んでいる。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・水泳に関心をもち、クロールや平泳ぎの技術などを高めるために課題を見つけようとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど
9～10	＜陸上競技＞ ハードル走・走り幅跳び	・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。	・動きなどに自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動に取り組んでいる。	・陸上競技に関心をもち、ハードリング、跳躍技術などを高めるために課題を見つけようとしている。
10～11 月	＜器械運動＞ マット運動 跳び箱	・器械運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・マット運動では、回転系や技巧系の基本的な技を	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・器械運動に関心をもち、技術を高めるために課題を見つけようとしている。 ・ルールやマナーを守り、健康安全に気を配ってい
10～11	＜バレーボール＞ パス・サービス スパイク・ゲーム	・バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・基本のパス、サーブ、スパイクの技術を身に付けて	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・バレーボールに関心をもち、パスやレシーブなどの技術を高めるために課題を見つけようとしている。 ・ルールやマナーを守り、健康安全に気を配ってい
11～12 月	＜ソフトボール＞ スローイング・キャッチング バッティング ゲーム	・ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・相手に正確に送球できる、バットでボールをしっかりとらえることができるなど。基本的な技術を身に付	・守備やバッティング、走塁などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・ソフトボールに関心をもち、守備やバッティング、走塁などの技術などを高めるために課題を見つけようとしている。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守るなど、健
11～12 月	＜バスケットボール＞ ドリブル・パス・シュート ゲーム	・バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・基本のドリブル・パス・シュートの技術を身に付けて	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・バスケットボールに関心をもち、ドリブルやパス、シュートなどの技術を高めるために課題を見つけようとしている。
評 価 基 準	B　おおむね満足できる基準	基本的な技術を身につけている。 基本的な理論・ルールを理解している。	自己の課題解決に向けて、安全面に留意しながら練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入している。	運動に対して関心をもち、課題を見つけようとしている。 学習カードに考えたことを記入している。
	A　十分満足できる基準	技能を高め、より多くの技術を身につけている。 技術的な理論・ルール・審判法などを深く理解している。	自己の課題を明確にし、安全面に留意しながら工夫して練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。	運動に対して高い興味・関心をもち、課題を見つけ、技能向上に向けて授業に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。
法方価評		実技テスト(技能) 定期考査(知識)	学習カード 定期考査	授業観察 学習カード

令和6年度　第2学年　男子　保健体育　　3学期　124 世田谷区立砧中学校

	指導内容	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1～2 月 2～3 月	＜バドミントン＞ ・ラリー・サービス・試合	・バドミントンの特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。	・動きなどに自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	・バドミントンに関心を持ち技術を高めるために課題を見つけようとしている。
	＜サッカー＞ ドリブル・パス・シュート ゲーム	・サッカーの特性や成り立ち、技術の名称や行い方などについて理解している。 ・基本のパス・トラップ・シュートの技術を身に付けて	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・自己の考えたことを学習カードに記入している。	・サッカーに関心をもち、技術を高めるために課題を見つけようとしている。 ・ルールやマナーを守り、健康安全に気を配ってい
通 年	＜保健分野＞ 生活習慣の健康への影響 けがの防止と応急手当	【知識】 ・運動、食事、休養・睡眠、喫煙、飲酒などの生活習慣が発病や進行に大きく関わっていること	・自分自身の生活習慣や普段の過ごし方について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康とは何かを考えたり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組んでいる。 ・生活習慣やけがの防止等についての学習活動に意欲的
	＜体育理論＞ 運動やスポーツの効果・学び方・安全	【知識】 ・運動やスポーツが心と体に良い影響を与えること	・運動やスポーツとの関わり方や学び方、安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考	・運動やスポーツ効果や学び方、安全についての学習に積極的に取り組もうとしている。
評 価 基 準	B　おおむね満足できる基準	基本的な技術を身につけている。 基本的な理論・ルールを理解している。	自己の課題解決に向けて、安全面に留意しながら練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入している。	運動に対して関心をもち、課題を見つけようとしている。 学習カードに考えたことを記入している。
	A　十分満足できる基準	技能を高め、より多くの技術を身につけている。 技術的な理論・ルール・審判法などを深く理解している。	自己の課題を明確にし、安全面に留意しながら工夫して練習に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。	運動に対して高い興味・関心をもち、課題を見つけ、技能向上に向けて授業に取り組んでいる。 学習カードに考えたことを記入し、的確に伝えている。
法方価評		実技テスト(技能) 定期考査(知識)	学習カード 定期考査	授業観察 学習カード

令和6年度　指導計画・評価計画　　２学年　教科【技術・家庭科　技術分野】　　１２４　世田谷区立砧中学校

学期	月	指導計画	評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4 5 6 7	○授業オリエンテーション **Bエネルギー変換の技術** １章　つくって学ぼう ①エネルギー変換の技術 ②電気に関する技術を知ろう ③機会に関する技術を知ろう ④実習の安全な進め方を知ろう ⑤つくってみよう（電気） ⑥つくってみよう（機械） ⑦問題を解決する工夫を考えよう ⑧保守・点検のしかたを知ろう	エネルギー変換の科学的な原理・法則、それらにかかわる機器、部品の名称などを理解している。 機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用について理解している。 練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的な技術の仕組みを理解している。 練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め方を身に付けている。 機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用について理解している。	技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて，災害時に想定される問題を見いだして課題を設定している。 課題を解決するために，条件を踏まえて適切な使用部品を選択し，構想を具体化して設計や計画をまとめている。	進んでエネルギー変換の技術に関わり，主体的に理解し，技能を身に付けようとしている。 自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決策を構想しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り，よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 自らの問題解決とその過程を振り返り，よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
2	9 10 11 12	⑨電気の安全な使い方を知ろう ⑩発電について知ろう ⑪学んだことをまとめよう **作品製作（ラジオ製作）** ２章　じっくり学ぼう ３章　学びを深め生かそう			
3	1 2	**D情報の技術** １章　つくって学ぼう ①情報を処理する ②情報を処理するしくみを知ろう ③情報通信ネットワークのしくみ ④情報セキュリティと情報モラル ⑤情報の工夫と利用を考えよう ２章　じっくり学ぼう	計測・制御の仕組み等の原理・法則を理解している。 制作に必要 な図をアクティビティ図でかき表すこ とができる。 安全・適切にプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 知的財産，ユニ バーサルデザイン等の観点から製作品を 見直すことができる。 設計の考え方や手順を理解している。	技術の見方・考 え方を働かせて，生活 の中から問題を見いだし て課題を設定している。 課題を解決するために，入出力されるデータの流れを 元に計測・制御シ ステムの構想を具 体化して設計や計 画をまとめている。 設計・計画に照らして，制作の過程を評価，改善及び修正している。 より安全で持続可能な社会の実現に向けて，情報の技術を評価し，適切な技 術の在り方や	進んで情報の 技術に関わり，主体的 に理解し，技能を身に つけようとしている。 自分なりの新 しい考え方や捉え方 によって知的財産を 創造し，他者の考え 方や捉え方も知的 財産として尊重し，ま たそれらを保護・活用しようとしている。 自らの問題解 決とその過程を振り 返り，よりよいものと なるよう他者と協働し て粘り強く改善・修 正しようとしている。 よりよい社会 や持続可能な社会の構築に向けて，情報の技術を工夫し創造していこうと

	3	①双方向性のあるコンテンツ ②計測・制御システム	これまでの学習から，技術の発展がよりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に果たす役割や影響を踏まえ，技術の概念を説明できる。	展望について考えている。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して，技術を評価し，新たな発想に基づいた改良や応用の仕方を提言できる。	行こ，情報の技術を工夫し創造していこうとしている。 よりより生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，技術を工夫し創造していこうとしている。
評価方法・評価資料			○定期考査・小テスト ○授業内での作品・実技テスト	○レポート・活動報告書 ○定期考査の記述内容 ○授業内での作品・実技テスト	○レポート ○主に作品を中心に作業・授業の取り組み ○活動報告書と作品

年間指導計画			観点別評価の規準		
学期	月	単元・章・節	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4 5 6 7	B　衣食住の生活 1　食事の役割と食習慣 2　中学生に必要な栄養を満たす食事 〇献立づくり 3　さまざまな食品とその選択	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。 ・生鮮食品と加工食品の違いや、その選択方法について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実現しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
2学期	9 10 11 12	4　日常食の調理 5　地域の食文化	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品や調理器具の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化や行事食について理解している。	・郷土料理や行事食について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3学期	1 2 3	7　持続可能な食生活		・持続可能な食生活に向けて、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、持続可能な食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法			・実技 ・定期考査　　など	・課題 ・提出物　　など	・振り返りカード ・提出物　　など

令和６年度　道徳２年　　１２４　世田谷区立砧中学校

シーズン	ユニット	月（週）	内容項目・教材名	ねらい	「大くくりな評価のために」（本時の評価の視点）
シーズン１　自覚をもって	上級生として生活する	4月（2週）	【内容項目を限定しない】 １　道徳の授業を始めよう！	道徳で何を学ぶのか，どのように学ぶのか，なぜ学ぶのかについて考えさせながら，１年間の道徳の学びの見通しをもたせ，これからの学びを広げたり，深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・大切にしている自分の感じ方・考え方，これから伸ばしていきたい心について整理し，友達の意見を聞くことで，自分と違う他者の感じ方・考え方に気づき，自分の考えを広げることができたか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・何を学ぶか，どのように学ぶかを踏まえ，なぜ学ぶのかについて，自分なりに考え，授業で大切にしたいことについての見通しがもてたか。
		4月（3週）	【C(15)よりよい学校生活，集団生活の充実】 ２　テニス部の危機	テニス部の活動方針を巡って対立した生徒の話を通して，集団の一員として，よりよくあるために大切なことを考えさせ，集団生活を充実させていくための判断力を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・白石君と木戸君の，双方の考え方や行動にふれ，集団の一員としてのよりよい在り方について，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・自分が所属する集団に対する思いを見つめたり，登場人物の姿から自分の考え方や言動を見つめたりするなどして，自分が集団の一員としてよりよくあることについて考えようとしているか。
シーズン１　自覚をもって	上級生として生活する	4月（4週）	【A(1)自主，自律，自由と責任】 ３　カラカラカラ	電車の中で転がる空き缶を拾うか迷う主人公の姿を通して，自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ，物事を自主的に考え，判断し，誠実に実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・達也と男の人の対照的な姿や友達の意見にふれ，自ら考えて行動することについて，さまざまな見方で考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・自分の経験を振り返ったり，登場人物の姿から自分の気持ちや言動を見つめたりするなどして，自ら考えて行動することについて，自分自身に引きつけて考えようとしているか。
		5月（2週）	【B(9)相互理解，寛容】 ４　ジコチュウ	クラスメートの言動を自己中心的だと誤解した生徒の物語を通して，考えや立場の違いを尊重し合うためにどんなことが大切なのかを考えさせ，相互理解に努め，他者に対して寛容な気持ちで接しようとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・自分の考えをどのように伝え，相手の考えや立場を尊重しながら，お互いのよりよい関係を築いていくことについて，多面的・多角的に考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・相互理解と寛容について考え，どのように理解し合い，よりよい関係をつくっていくのかということについて，自分のこととして捉え，考えようとしているか。
		5月(3週)	【B(8)友情，信頼】 ５　松葉づえ	松葉づえを突いている転校生に親切にしていたクラスメートたちが，しだいに態度を変えてしまう姿を通して，「友情」とはどういうものかを考えさせ，心から信頼し，助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・登場人物の姿やクラスでの話し合いを通して，友達を思いやり，協力し合いながら豊かな関係を築いていくことについて，考えを広げようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・教材に描かれた友情と自分のもつ友情観を照らし合わせるなどして，友情についての自分の考え方を広げ，深めようとしているか。
シーズン１　自覚をもって	上級生として生活する	5月(4週)	【C(12)社会参画，公共の精神】 ６　消防団	消防団に参加することで地域社会に貢献している巻出さんの姿を通して，地域のために活動することについて考えさせ，自分の地域や社会に積極的に関わっていこうとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・巻出さんの思いを知ったり，話し合いで他者の意見にふれたりすることを通して，社会参画についてさまざまな立場から考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・巻出さんの消防団への思いを感じることで，これまでの自分を振り返り，自分が社会の中でよりよく生きることについて考えようとしているか。

シーズン	ユニット	月（週）	内容項目・教材名	ねらい	「大くくりな評価のために」（本時の評価の視点）
	いじめを許さない心について考える	6月(1週)	【C(11)公正，公平，社会正義】 7　明日，みんなで着よう	「ピンクシャツデー」といういじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して，誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことについて考えさせ，いじめや差別，偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・トラヴィスや学校のみんな，男子生徒の思いを考えるなどして，誰もが安心して過ごせる社会にすることについて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・登場する人々の姿から自分の気持ちや言動を見つめ，誰もが安心して過ごせる社会にするために自分にできることは何かと考えようとしているか。
		6月(2週)	【C(11)公正，公平，社会正義】 7　深めたいむ		
シーズン1　自覚をもって	いじめを許さない心について	6月(3週)	【D(19)生命の尊さ】 8　命が生まれるそのときに	詩「いのちの音」と，出産を撮影するフォトグラファーの文章や写真を通して，「生きている」ことの尊さについて考えさせ，生命を尊重しようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・繁延さんの思いや写真にふれ，「生きている」ことの尊さについて，命の有限性や偶然性など，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・自分の経験を振り返ったり，繁延さんの姿から自分の思いを見つめたりするなどして，自分が「生きている」ことの尊さや，自他の命を大切にする生き方について考えようとしているか。
	自分のことを知ろう	6月(4週)	【A(1)自主，自律，自由と責任】 9　許せないよね	インターネットへの匿名の書き込みから行き違いが生じてしまう物語を通して，自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせ，物事を自律的に実行して，その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・主人公の戸惑いや登場人物の考えについて話し合う活動を通して，責任ある言動を実現することのよさについて広い視野から考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・教材の登場人物たちに起こった出来事は，普段の学校生活の中でも起こりうるものであることから，自分のこととして責任ある言動を取ろうという考えを深めているか。
		7月(1週)	【D(22)よりよく生きる喜び】 10　あと一歩だけ，前に	スガシカオさんの曲の歌詞を通して，自分を見つめ，人として生きていくことがどういうことなのかを考えさせ，弱さや醜さを克服してよりよく生きていこうとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・歌詞を読み，友達のさまざまな考えにふれ，人間には「弱さ」や「醜さ」があるということに気づくことができたか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・人間のもつ「弱さ」や「醜さ」が自分の中にもあることに気づき，それを受け入れながら，これから前向きに生きていこうと考えているか。
		7月(2週)	【C(14)家族愛，家庭生活の充実】 11　異なり記念日	「異なり記念日」に込めた筆者の家族に対する思いを通して，温かい信頼関係や愛情のある「家族の在り方」について考え，家族の一員としての自覚をもって積極的に関わり，よりよい家族関係を築いていこうとする心情を養う。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・教材に描かれた家族の在り方や，交流を通して知った友達の家族の在り方などを踏まえ，さまざまな視点から，家族について考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・普段の生活を振り返り，家族への思いやその一員としての自分の在り方などを改めて考え，家族愛や家庭生活について自分のこととして考えようとしているか。
シーズン2　広い視野で	情報モラルについて考える	9月(1週)	【A(2)節度，節制】 12　夢中になるのは悪いこと？	中高生を対象とした自由時間についての調査や，ネットゲームへの依存に関する新聞記事を通して，望ましい生活習慣について考えさせ，節度を守り，節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・教材の事例を読んだり，クラスで話し合ったりすることで，望ましい生活習慣について，精神面や食事面など，さまざまな面から考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・チェック表への記入や，新聞記事の事例を読むことを通して，自分自身の生活習慣を振り返り，自分がよりよい生活を送ることについて考えようとしているか。
		9月(2週)	【A(2)節度，節制】 12　深めたいむ		
	働くことについて考える	9月(3週)	【B(7)礼儀】 13　秀さんの心	職場体験で，職人の礼儀にふれた二人の生徒の物語を通して，礼儀の意味について考えさせ，心の籠もった適切な言動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・礼儀のもつ意味について，登場人物の言動や自分の経験，友達との意見交流を踏まえて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・礼儀について，職場体験とつなげて考えたり，登場人物の姿から自分の考え方や言動を見つめたりするなどして，自分のこととして捉え考えようとしているか。
1、	く 働	9月(4週)	【C(13)勤労】	災害の避難者の健康を考えて段ボー	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】

シーズン	ユニット	月（週）	内容項目・教材名	ねらい	「大くくりな評価のために」（本時の評価の視点）
			14　段ボールベッドへの思い	ルベッドを考案し，設計図を無償で公表した会社の人の話を通して，人にとって働くことにはどんな意味があるのかを考えさせ，人や社会のために働こうとする実践意欲と態度を育てる。	・教材を読んだり，友達の意見を聞いたりして，働くということには，さまざまな側面があるということについて考えているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・働くことの意義について考え，将来，自分も社会の中で人とのつながりをつくりながら，社会に貢献できるように働いていこうと考えているか。
		10月 （1週）	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度】 15　一枚の布から	夏祭りで父のゆかたを着ることになったことをきっかけに，日本の伝統文化である和服について興味をもった話を通して，伝統や文化のよさについて考えさせ，それらを継承していこうとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・主人公や，和服に関わる人々の考えにふれ，日本の伝統や文化について，さまざまな角度から考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・主人公や，和服に関わる人々の考えを知ることで，自分自身と伝統文化の関係を見つめ，自分が伝統や文化とどう関わっていくかを考えようとしているか。
		10月 （2週）	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度】 16　私の町	新潟県村上市の，郷土の祭りや町並みなどに対する生徒の思いを通して，故郷を思う心について考えさせ，郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・他者との話し合いの中で，多様な考えにふれ，「私」が自分の町を見直すことになったのは，どのような思いからであるかを考えているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・村上大祭の「おしゃぎり」や町屋に対する「私」の思いを理解し，自分の住む地域の伝統や文化を守り，発展させていくために，これからできることについて考えているか。
シーズン2　広い視野で	働くことについて考える	10月 （3週）	【A(5)真理の探究，創造】 17　スカイツリーにかけた夢	東京スカイツリーの設計士の，物事を追求する姿を通して，新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせ，真理を探究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・新しいものを生み出すことについて，吉野さんの思いや行動を基に，友達との意見交流も踏まえて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・新しいことに挑戦した自分の経験を振り返ったり，吉野さんの姿から自分の思いを見つめたりするなどして，新しいものを生み出す生き方について，自分に引きつけて考えようとしているか。
	多様性について考える	10月 （4週）	【C(10)遵法精神，公徳心】 18　民主主義と多数決の近くて遠い関係	「好きな案」と「みんなにとって望ましい案」をどう捉えるかについての説明文を通して，集団や社会の中で合意形成するとき，大切にすべきことについて考えさせ，法を遵守し，公徳を重んじようとする判断力を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・集団の中での物事の決め方について，他の人の意見を聞きながら，「好きな案」と「みんなにとって望ましい案」の違いについて考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・日常の学校生活でも，少数意見を大切にすることの必要性を実感し，よりよい案のために，議論を尽くすことの意義を理解しようとしているか。
		11月 （1週）	【C(10)遵法精神，公徳心】 18　深めたいむ		
シーズン2　広い視野で	多様性について考える	11月 （2週）	【B(9)相互理解，寛容】 19　「桃太郎」の鬼退治	昔話の「桃太郎」と，鬼の子供の立場から桃太郎を捉えた詩を通して，考え方や立場の異なる者どうしが理解し合うことについて考えさせ，相互理解に努め，他者に対して寛容な気持ちで接しようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・各登場人物の立場やクラスでの話し合いを通して多様な考えにふれ，一つの物事をさまざまな側面から捉えることの大切さについて考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・教材や自分自身を振り返ることから，立場や考えの異なる他者と理解し合い，寛容の心をもつことの大切さや難しさについて，自分のこととして捉えようとしているか。
		11月 （3週）	【C(18)国際理解，国際貢献】 20　むこう岸には	川の両岸に住む肌の色や髪の毛，服装が異なる少女と少年の物語を描いた文章を通して，他国の人々や文化を理解するとともに，互いに尊重し合い，国際的視野に立って，世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・クラスでの話し合いなどを通して，他国の人々と理解し合うために大切なことについて，文化や習慣など，さまざまな側面から考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・教材の登場人物の考えにふれることで自分自身について振り返り，自分が他国の人々と理解し合うことについて考えようとしているか。
	環境について考	11月 （4週）	【D(20)自然愛護】 21　僕の仕事場は富士山	富士山のガイドをする近藤光一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して，自然を守るために大切	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・環境保全活動をする筆者の思いやクラスの話し合いでの多様な考えにふれ，自然を守るために大切なことについて，さまざまな側面から考えようとしているか。

シーズン	ユニット	月（週）	内容項目・教材名	ねらい	「大くくりな評価のために」（本時の評価の視点）
			です	なことについて考えさせ，自然を愛し守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・人間が，自然に対して謙虚に向き合うことの大切さを理解し，現在及び未来の自然環境の課題を解決するためにできることを，自分のこととして捉え，考えようとしているか。
シーズン２　広い視野で	環境について考える	12月 （1週）	【D(21)感動，畏敬の念】 **22　宇宙の始まりに思いを寄せて**	天文学者の大内正己さんが，新しい天体を発見したときの思いや，宇宙との出会いについて述べた文章を通して，「感動する心」を見つめさせ，自然や崇高なものに対して感動する心を大切にして生きようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・感動が人に与える力について，大内さんの姿や自分の経験，友達との意見交流を踏まえて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・大内さんの姿にふれ，自分の感動体験を振り返ったり，自分の感動する心を見つめたりするなどして，感動する心を大切にする生き方について考えようとしているか。
	自分のよさを伸ばす	12月 （2週）	【D(19)生命の尊さ】 **23　つながる命**	脳死となった女児の両親が，女児の臓器提供を決断したことを取り上げた新聞記事を通して，「命」について考えさせ，生命を尊重しようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・Ａちゃんの両親をはじめ，臓器提供を受ける人やその家族の思いを考えるなどして，命とはどういうものかについて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・Ａちゃんの両親の思いにふれ，自分の経験や思いを見つめながら，自分の命とはどういうものかについて考えようとしているか。
		12月 （3週）	【A(3)向上心，個性の伸長】 **24　優しさの光線**	将来の夢が見えず，自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して，自分の「よさ」について考えさせ，向上心をもち，個性を伸ばしていこうとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・他者との話し合いから，個性についての多様な考えにふれ，自分の「よさ」を見つめることの大切さについて，考えを深めているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・登場人物の翔の心の変化を共感的に捉え，これから，自分の個性を見つめ，将来に生かしていこうと考えているか。
シーズン３　よりよい生き方を求めて	最上級生になる自覚をもつ	1月(2週)	【D(22)よりよく生きる喜び】 **25　人って，本当は？**	孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して，人のもつ強さや弱さ，自分のよりよく生きる道について考えさせ，よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・孟子と荀子の考え方や自分の経験，友達との意見交流を踏まえて，人間の弱さや強さ，よりよく生きる道について，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・孟子と荀子の考え方にふれ，自分の経験や言動を振り返りながら，自分の弱さや強さ，よりよく生きる道について，考えようとしているか。
		1月(3週)	【A(4)希望と勇気，克己と強い意志】 **26　夢の力**	困難を乗り越えながら，次々に夢をかなえていった二條実穂選手の文章を通して，今の自分と向き合い，夢や目標の達成に向け，希望と強い意志をもって，生きていく実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・他者の考えから，夢や目標をもつことの価値について自分の考えを深め，よりよい生き方をしようとする態度が見られているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・どのような状況においても自己を見つめ，具体的な行動をもって，自己実現に向けて生活していこうと考えているか。
		1月(4週)	【A(4)希望と勇気，克己と強い意志】 **26　深めたいむ**		
シーズン３　よりよい生き方を求めて	よりよい生き方を目ざす	2月(1週)	【A(3)向上心，個性の伸長】 **27　嫌われるのを恐れる気持ち**	他人に嫌われることを恐れ，本心を表に出せないことに悩む生徒の相談を通して，いろいろなものの見方や考え方を理解しながら，自らを高めていくことの大切さについて考えさせ，向上心をもち，個性を伸ばしていこうとする判断力を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・教材の「僕」が悩んでいる在り方は，僕の個性であることに気づき，その個性や個性を伸ばす生き方について多面的・多角的に考えようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・「僕」の悩みを，生徒が自分の個性や生き方と重ねて考え，これからの生き方に生かしていこうとしているか。
		2月(2週)	【B(6)思いやり，感謝】 **28　気づかなかったこと**	人々の嫌な面ばかりを見ていた生徒が，周りにあふれる思いやりに気づく姿を描いた漫画を通して，日々の生活で人と接するときに大切なことは何	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・人と接するときに大切なことについて，登場人物の姿や自分の経験，友達との意見交流を踏まえて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】

シーズン	ユニット	月（週）	内容項目・教材名	ねらい	「大くくりな評価のために」（本時の評価の視点）
				かを考えさせ，他者への思いやりや感謝の気持ちをもって行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。	・「私」の思いにふれ，自分の思いや経験を振り返りながら，自分が人と接するときに大切にしたいことについて，考えようとしているか。
		2月(3週)	【C(11)公正，公平，社会正義】 29　クロスプレー	草野球の審判を引き受けた警官と子供たちとのやり取りを描いた物語を通して，公正な心をもつことの大切さについて考えさせ，正義と公正，公平さを重んじようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・公正さとはどういうことか，自分の考えに友達のさまざまな見方や考え方を重ね合わせて，考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・公正にふるまうことの難しさを自分のこととして捉えたうえで，それを乗り越えて公正であろうとしているか。
シーズン３　よりよい生き方を求めて	よりよい生き方を目ざす	3月(1週)	【D(19)生命の尊さ】 30　泣きすぎてはいけない	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して，「生きる」ということについて考えさせ，生命を尊重しようとする心情を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・「生きる」ということについて，「私」の思いや自分の経験，友達との意見交流を踏まえて，さまざまな角度から考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・「私」の思いにふれ，自分の命の尊さを見つめたうえで，自分はどう生きたいかについて考えようとしているか。
		3月(2週)	【内容項目を限定しない】 31　道徳の学びを振り返ろう	「１　道徳の授業を始めよう！」や「学びの記録」を見て１年間の道徳授業を振り返り，これからの生き方を見つめ，伏野さんの「自分のルール」を参考に自分でもルール作りをする活動を通して，自分を見つめ，学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・１年間の自分の変化・成長や，今後がんばりたいこと・大切にしたいことについて，さまざまな角度から見つめ，考えを深めようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・１年間の自分の変化・成長や，今後がんばりたいこと・大切にしたいことについて，自分の思いを見つめ，「自分のルール」を作り，よりよく生きていくことについて考えようとしているか。
			【C(18)国際理解，国際貢献】 34　アンネのバラ	「アンネのバラ」を育て続けている中学校の生徒たちの実話を通して，平和な世界を実現するために大切なことは何かを考えさせ，国際理解や国際貢献につながる行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・世界平和を実現するためには，さまざまな立場の人々が尊重し合い，協力して行動していかないといけないということに気づくことができたか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・「世界平和の実現」を遠い問題のように捉えるのではなく，自分の身近にある事柄にも世界平和につながることがあるのではないかと気づき，自分には何ができるかを考えることができたか。
			【B(8)友情，信頼】 35　泣いた赤おに	赤おにと青おにの友情を描いた物語を通して，「本当の友達」とはどのようなものかを考えさせ，他者と友情，信頼を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。 小学校での既習の物語であり，自らの考え方の変化や成長を確かめることができる。	【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか】 ・話し合いを通して，「本当の友達」についてのさまざまな考え方を聞き，自分の見方や考え方を広げたり深めたりしようとしているか。 【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか】 ・赤おにに対する青おにの「友情」の示し方を自分に置き換えて考え，「友達」へのこれまでの接し方や関わり方を見直しているか。